2011－12年度　田辺東ロータリークラブ週報

第1797回 例会

2011-12年度RI会長：カルヤン・バネルジー
第2640地区ｶﾞﾊﾞﾅｰ：大澤　徳平
創立：昭和49年5月15日
会長：上原俊宏
幹事：佐田一三
会報：榎本真弓

VOL.38 No.1
2011年 7月6日（水）

事務所：田辺市下屋敷町81－10
きのくに信用金庫田辺支店3F
Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
例会：毎週水曜日　12:30～

司会者　上原俊宏　会長

唱　歌

"君が代　"　　山本　亘君

"奉仕の理想　"

出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
49名	3名	6名	86.96%
6月22日　修正出席率　84%			

ニコニコ箱

（敬称略）

◇2011～2012年度、初例会をお祝いします。
宇都様、ご入会を歓迎します。
藍畑、愛須、榎本、後藤、橋本、畑地、堀、泉
片井、北村、小山、栗山、楠本、前田、丸山
森本、中川、中嶋、西谷、小倉、沖、佐田、坂本
杉若、武田、竹村、谷峯、谷本、玉置、内芝、浦地
宇都、渡口、安井、山本、吉本、木村、隠岐

◇社是集完成しました。
岡本様、武田様ご苦労様でした。　谷中

◇これから宜しくお願いします。　上原

会長報告

■本日は2011-2012年度の初例会です。
後ほどご挨拶しますので宜しくお願い致します。

■新会員案内
本日より宇都達裕（うとみちひろ）さんが会員です。後ほど、推薦人より案内、自己紹介をお願い致します。

■先ほど、理事会を開催致しました。

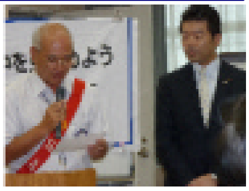
幹事報告

■例会日時変更
◎和歌山南RC　7月22日（金）
→　7月24日（日）18：30～
ホテル太公望（納涼家族例会）
◎白浜RC　　7月8日（金）
→　7月8日(金)　　18：30～　民宿　望海

■回覧
・「シーカ75号」
・ガバナー事務所より
「RI認証のお知らせ」「年次大会の御案内」

■連絡
・次回13日と20日は委員会活動計画発表となります。
各委員長さんは宜しくお願い致します。

委員会報告



■ SAA委員会　木村　壽一君
新入会員の紹介
宇都達裕（うとみちひろ）君
42才　住友生命　紀南営業部長

■谷中　順次郎君
社是集完成しました。
ありがとうございました。

■親睦委員会　安井　忠雄君
7月27日（水）PM6：30～
ガーデンホテルハナヨ様にて
歓送迎会（バーベキュー）
会費6000円

■会計　丸山　博之君
会費まだの方は7月31日までにお支払い下さい。

■社会奉仕　森本　修至君
県より、薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」運動についての協力お願いの文書が届いています。詳しくは事務局に書類がありますのでご覧ください。

■初例会乾杯の音頭
西谷　次彦　直前会長
ご苦労様でした。

本日のプログラム

～ 会長挨拶　上原　俊宏君　～

皆さんこんにちは、朝日ヶ丘で小児科を開業して２０年になります上原です。
のっけから、寂しい話をします。それは、現時点では、小生、まだ田辺東ロータリークラブの会長ではないと言うことです。できが悪い、人間性が悪い、人相が悪いという理由もあるのかも知れませんが、大きな理由は地区の体制にあります。
今期、２６４０地区のガバナーになりました方は、ガバナー第一声として、地区の各クラブにメールを送信しています。それによりますと、
２６４０地区で、現に会長とされている者は、PETSを受講していない。地区協議会にも出席していないので、現状では会長の資格はないと言うことでした。
つまり必要条件を満たすまでは、昨年度の会長が会長を務めると言うことを指示しています。役員・理事に関しましては、クラブで選出された役員が７月１日から役員・理事として任務に当たると言うことになるとの事です。
本日ここに上原が、会長のような顔をして挨拶をしていますが、一応仮の会長ということになります。なんか、初めから力が萎えてしまいます。
次の寂しい話は、期末に３名の退会者があったことです。それぞれに、それぞれの事情があったのでしょうが、当方にしてみれば「上原にはついていけん！」という意味にとってしまい、寂しさがひとしおとなりました。
それにもめげず、なお４９名の会員の方が当田辺東ロータリークラブに在籍し、ロータリークラブの活動に積極的に参加されようとしています。ありがとうございます。ひとしおの想いとなっています。
さて、本年度のRIの会長は、カルヤン・パネルジーであり、United　Phosphorus　Ltd.というインドの製薬会社の重役です。彼の提唱するテーマは、
「こころの中を見つめよう　博愛を広げるために（Reach Within to Embrace Humanity）」であり、強調事項は「家族」「継続」「変化」となっています。
１９０５年、ポール・ハリスがロータリーを創設しましたが、当初は有志による親睦の会であったようです。それに、奉仕の考えを導入したことによりロータリークラブは広く社会に受け入れられ、拡大することが出来ました。加えてロータリークラブに特異的なモノが職業奉仕です。親睦団体であり、奉仕をする、自分の職業に於いて奉仕活動をするという特別な会になったのです。それから社会における奉仕、次いで広く国際奉仕へと広く活動が発展してきました。
人生の３０％は睡眠の時間です。さらに３０％が職業の時間です。残りの３０％がプライベートな時間と言うことになります。睡眠時間中はひたすら休みます。さらなる活動をするための休養であり、充電の次期でありあます。ロータリアンの主な奉仕活動は、自分自身の職業に於いて奉仕の理念をもって活動すると言うことが日々の基本となります。ロータリアンの資格の一つに職業人であることが指定されているのはまさに宜なるかなであります。残り３０％のプライベートな時間の中に、ロータリーの例会に出席をして、あるいは広く社会に、世界に奉仕活動を拡大し、また親睦活動を行うと言うことになります。つまりプライベートの中の時間を奉仕活動に当てはめるのですから、家族の理解と協力が必要となります。RI会長が強調事項の中に「家族」を掲げた理由の一つとなります。
永くロータリー活動を行うためには、無理をせず職業にいそしみ、しっかりと休養をとり、余裕を持って社会奉仕活動をすることが必要になります。
あと、１０％ばかりが残りますが、これは個人の秘密の時間ですから、個人として個性を磨くために必要な時間です。ロータリーの仲間も入っていけない部分があると思っています。
さて、RIの会長のテーマを敷衍しました、当田辺東ロータリークラブでは標識語を「落葉帰根」としました。
紀南地方には比較的多くの禅寺があるようです。
市内に海蔵禅寺、山の手に宝満禅寺、白浜に観福禅寺などがあります。どれも臨済宗妙心寺派の禅寺です。
白浜の草堂寺のように臨済宗東福寺派の禅寺もあります。
数は少ないのですが、市内新屋敷町にある法輪寺は、道元由来の曹洞宗であります。
いずれにせよ、
禅宗の基本は座禅です。道元で知られる曹洞宗はひたすら只管打坐(しかんたざ)をときます。一方、栄西の導入した臨済宗では座禅時に公案をもちいる看話禅となります。
座禅の本質は道元の言うところの黙照禅が基本であり、座禅をくむことにより、一切の思慮分別を超えて人間が本来持つ仏性があらわれるとしたことにあります。
ただし、これは非常に難しく凡人が黙照禅をおこなうといつまでも雑念が消えないという事態が生じます。
是に比べて看話禅は座するときに答えのないテーマを与えられるために精神を集中しやすく、為に凡人でも目的を果たすことが出来やすくなると言えます。
公案としてつとに有名なのが、白隠の「隻手の音声」です。
通常、拍手をする場合、右と左の手を合わせ打ちなら

す。するとパンという柏手の音がする。では、右なら右手だけで拍手をするとなるとどのような音が出るであろうか。というのが公案です。
通常、拍手は手で行う動作ですが、これは賛意をしめすなり、神を呼ぶなりする精神の奥底にある願望の発露であると言えましょう。したがたって必ずしも手を合わせ打ち鳴らさなくとも精神の叫びは表す方法があると言えると思います。その方法なり意味を考えるのが公案としての本意となります。それは如何に奉仕活動を行うかというロータリーの精神に通じるものがあると思えます。
禅宗の、達磨大師から数えて６世の慧能が残した公案の一つが「落葉帰根」であります。
元々は、「樹高千丈　落葉帰根」であり、ヒトも樹木と同じく大きくなり、発育して実をつけ名をなし、多くの実績・評価を残すようになっても、いや実ればみのるほど頭を垂れる稲穂のように、職業人として一人前になれば、その成果を何らかの形で子孫だけではなく、後輩に、世の中に還元する（奉仕する）必要があるのではないかという意味だと思っています。
最も多くのロータリアンは現在発育中で、まだまだ落葉の時期ではないかも知れませんが、常緑樹の杉檜でさえ、春先には葉を落とします。枯れてから、いや枯れる寸前に葉を落とすのではなく、年齢に応じて次世代に智慧を受け渡すという奉仕活動をすることは出来るであろうと思います。
その様な意味を込めて、当クラブの今期のテーマを「**落葉帰根**」とさせていただきました。
今回は、特別に、書道家の沖先生に書をしたためていただきました。
禅の公案は、常に答えがないか一つだけではないのが基本です。今申したのは、一つの答えとも言えるモノです。この「落葉帰根」が、カルヤン・パネルジーRI会長の提唱した、
「心のなかを見つめよう」の意味を見いだせることが出来る手助けになると思います。
人生の残りの１０％の中で、「落葉帰根」なる公案を考案してはどうでしょうか。
さらなる奉仕のために。

【 樹高千丈　落葉帰根　中島みゆき　2001年 】

1　見知らぬ土地へ流れてゆく心細さをたとえるなら
幹から遠くなるほどに
次第に細くなってゆく枝葉
私はどこまでゆけるでしょう
空まで昇ってゆくかしら
それともつらい冬が来て
望み叶わずに散るかしら
樹高は千丈　遠ざかることだけ憧れた
落ち葉は遙か　人知れず消えてゆくかしら
いいえ　どこでもない　枝よりもっと遙かまで
木の根はゆりかごを差し伸べて
きっと抱きとめる

2　それぞれ離れてゆく枝は
つかのま触れてはまた離れ
風のしわざと知りつつも　諦めきれずに振り返る
私は一人が嫌いです　それより戦が嫌いです
それゆえ違う土地へゆき
懐かしがろうと思います
樹高は千丈　遠ざかるしかない者もある
落ち葉は遙か　人知れず消えてゆくかしら
いいえ　どこでもない　枝よりもっと遙かまで
木の根はゆりかごを差し伸べて
きっと抱き留める
いいえ　どこでもない　枝よりもっと遙かまで
木の根はゆりかごを差し伸べて
きっと抱き留める

※参考文献
落葉帰根　水上勉　昭和５４年１１月　小沢書店
落葉帰根・倒木更新　～その向こう～　上原俊宏
平成２０年８月　土　５１P

☆☆☆ 編集後記　☆☆☆
初例会ご苦労様でした。
今期会報は、榎本、前田、本田、武田、力を合わせて編集していきますので宜しくお願い致します。
誤字、記載間違いなどございましたらご連絡下さい。蒸し暑い日が続きますが、皆様お体に気をつけて暑い夏を乗り越えましょう。
東ロータリーのホームページご覧ください。
http://tanabe-east-rc.com/　榎本